

山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

平成20年

仁叟寺年間行事予定

- 1/1～1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4～1/7 年始挨拶
- 1/10 年賀寺例
- 2/3 大節分会
- 2/15 釋尊涅槃会
- 3/9 大般若会・施食会法要
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/18～3/24 春季彼岸会
- 4/8 釋尊降誕会(花祭り)
- 6/7～6/8
- 高崎経済大研修参禅合宿
- 6/21～6/22
- 第46回青年会緑蔭禅の集い
- 7/13～7/16
- 京浜地区盂蘭盆会
- 7/28～7/29
- 第27回子供禅の集い
- 8/10 中元寺例
- 8/13～8/16 盂蘭盆会
- 8/30～8/31
- 早稲田大学研修参禅合宿
- 9/18～9/19
- 東洋大学研修参禅合宿
- 9/20～9/26 秋季彼岸会
- 10/18 檀信徒研修参拝旅行
- 12/8 釋尊成道会
- 12/10 歳暮寺例
- 12/31 除夜会
- 毎週土・日曜日
- 書道教室
- 毎週水曜日
- 定例坐禅会
- 隔週水曜日
- 華道教室・梅花講稽古

ほうじゅうどう

研修会館兼小斎場「鳳寿堂」完成



↑ 鳳寿堂外観 鳳寿堂は、研修会館として、現在行っている宿泊

を伴った各種研修会や参禅合宿、子供坐禅会などで活用できます。早稲田・東洋・高崎経済各大学のほか、群馬県曹洞宗青年会主催の緑蔭禅の集いや今年で第27回目となる子供坐禅会でも使用が見込まれます。

仁叟寺北東に樹齢350年の町指定天然記念物「モクきつりつの木」が屹立しております。そのモクきつりつの木の傍に、今年7月、吉井町長根の上原建築施工により14坪の研修会館兼小斎場「鳳寿堂」が完成いたしました。

ないじん

↓ 鳳寿堂内陣の様子



ほか、小斎場として利用することも出来、本尊として仁叟寺に江戸時代中期から伝わる阿彌陀如来立像を、「西方阿彌陀」の言葉通り堂の西側へお祀りいたしました。利用規約は別紙にて配布したとおりですが、当寺檀信徒は優先的に利用することが出来ますので、お問い合わせください。



↑ 本尊阿彌陀如来立像 (江戸時代作 現在修復作業中)

仏像修復計画経過報告及びご依頼

仁叟寺では、平成15年より当寺に多数遺されている各種仏像の修復作業を鋭意進めて参りました（下記一覧表をご覧ください）。

また、昨年7年間という時間を費やして刊行された『仁叟寺誌』の第九章仏像（291頁～606頁）内にも掲載したとおりです。当寺に遺されていた仏像約600体を精密に調査し、記録いたしましたが、その調査に当たっては佛教造形研究所本間紀男先生や群馬県立文書館岡部央先生、町教委矢島浩先生、仁叟寺誌編纂委員諸氏はじめ多くの方々のご協力賜りました。調査後、本間先生より仏像の修復が早期に必要なとの指摘を受け、三十一世代に下記の通り仏像修復を行いましたこと、ご報告申し上げます。

今後も、本尊さまを含め、町指定重要文化財等の仏像の修復が待たれております。是非とも次世代に引き継ぐ寺宝の修復について檀信徒の皆様方のご理解ご協力をお願いする次第です。

番号	尊像名	安置場所	制作年代	修復年度	功德施主名	費用（円）
1	毘沙門天	欣光閣	江戸時代初期	平成15年	高崎 新井富美江	120万
2	文殊菩薩	文殊堂（本尊）	平成6年	平成19年	東京 金澤かね	50万
3	文殊菩薩	坐禅堂（本尊）	桃山時代	平成20年	本郷 高橋勝夫	50万
					多胡 神保武長	10万
4	不動明王	本堂	江戸時代後期	平成19年	高崎 福島英男	10万
5	薬師如来	本堂	鎌倉時代	平成19年	神保 関口益雄	300万の内 100万
6	阿彌陀如来	鳳寿堂（本尊）	江戸時代中期	平成20年	東谷 寺尾計司	10万
					多胡 齋藤将聡	10万
					東京 落合里江	10万
					吉井 櫛島光治	10万
					黒熊 三木正美	10万

（平成20年7月現在、阿彌陀如来は修復中）（施主名は順不同・敬称略）



← 毘沙門天像（修復後）



← 本堂不動明王修復前
→ 本堂不動明王修復後



→ 文殊堂本尊文殊菩薩像
上）修復前 下）修復後





← 本堂薬師如来立像修復前
→ 本堂薬師如来立像修復後



↑ 坐禅堂本尊 文殊菩薩像
修復前（左） 修復後（右）

スリランカTV局取材

去る4月15日（火）に仁叟寺にスリランカのTV局が取材に参りました。当日はスリランカTV局スタッフが来寺され、住職・副住職・金子明総代長が取材を受けました。当寺は、スリランカ及び大菩提会とも友好関係を結んでおり、大菩提会の会長であるバーナガラ・ウパティッサ老師と住職とのご縁からスリランカより仏足石を頂戴し、境内にお祀りさせていただいております。

今回の取材は、日本の寺院を紹介する番組で、成田山新勝寺や東京浅草寺、京都の寺院なども廻るそうです。昨年秋には、スリランカの新聞にも仁叟寺が取り上げられ、今回はTV局の



↑ 境内の撮影を行う
スリランカTV局スタッフ

取材と、スリランカとのご縁が深まっております。

ちょうじゅそう

特別養護老人ホーム「長寿荘」物故者追善法要

今春彼岸会中、住職が理事を務め、サンコー寺本欣一社長が理事長を務めます高崎市の特別養護老人ホーム「長寿荘」において恒例の物故者追善法要が営まれました。

この法要は毎年春秋のお彼岸会及びお盆の時期に執り行われ、同施設で亡くなった方々のご冥福をお祈りいたしております。法要終了後は、それぞれの折にちなんだ法話を行っており、恒例の行事となっております。

→ 法要風景



東洋大学仏教会・東洋大学仏教青年会設立

東洋大学仏教青年会（YMBA@TOYO）・東洋大学仏教会（TBA）が、本年4月1日（火）に正式に発足いたしました。仏教会会長は住職の実弟である渡辺章悟東洋大学文学部教授。専門はインド哲学・般若心経・中観思想などで、最近文学博士号を取得いたしました。

同会の簡単なご紹介を下記に掲載いたします。入会を希望される方は、同会もしくは仁叟寺までご連絡下さいますようお願い申し上げます。

活動内容ほか

約100年の時を経て再興された東洋大学仏教会及び東洋大学仏教青年会では、現在仏教に親しみかつまた社会に「活かす」機会の場を提供し、活動を始めました。同大学での仏教講義のほか、研修旅行、声明、坐禅、各種講演会などを精力的に行っております。特に坐禅研修は、今年秋に仁叟寺を会場として研修参禅会を行う予定です。発足記念式典には副住職が参加し、東堂・住職共に会員にもなっております。同会の益々のご隆昌を祈念申し上げます。

同会の詳細は、〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 東洋大学インド哲学科第8研究室気付
東洋大学仏教会事務局長 岩井昌悟氏まで Tel: 03-3945-7393(-7357)
E-mail: tba.bussei@gmail.com URL <http://www.toyo-ymba.org/>



第46回群馬緑蔭禅の集い無事圓成



去る6月21日（土）～22日（日）に掛けて、第46回群馬緑蔭禅の集いが仁叟寺を会場に開催されました。同坐禅会は、群馬県曹洞宗青年会（会長・河村史明師）が主催、曹洞宗群馬県宗務所が共催、群馬県内の曹洞宗各寺院ほか団体の後援のもと企画運営を行っております。本年はテーマを「良寛さんに学ぶ」と題し、良寛研究家の金井重明氏を講師に招き、一泊二日の研修参禅会を修行いたしました。

本年は10代から70代までの老若男女が、県内外より45名参加し、青年会若手宗侶35名と共に、修行生活を体験いたしました。

←群馬緑蔭禅の集いの新聞記事（上毛新聞6/25付）

行雲流水（編集後記）

編集人 副住職 渡辺龍道

週三回の曹洞宗群馬県宗務所勤務のほか、龍源寺住職兼仁叟寺副住職を務めさせていただいております。お蔭様で、『仁叟寺誌』編纂は、昨今の今頃に無事終了し、刊行する事が出来ましたが、仏像修復事業等、まだまだやらなくてはならない事柄が山積しております。何卒、ご理解ご協力をお願い申し上げます。

また、拙僧の叔父である渡辺章悟東洋大教授が仏教青年会及び仏教会を再興いたしました。これからは「心の時代」と云われております。仁叟寺では多くの行事があり、様々な活動を行っておりますが、更に当寺で出来る事を発信しようと思っております。



↑今年も満開の古代蓮